

FLORE21 ホットニュース

秋の風を感じた週初めから、35℃に迫る真夏に戻った週半ばと、おかしな1週間でした。体調を崩す人も多く、社内でも発熱でお休みする人が続いています。

そんな気候の中、金曜日は「やっと動き始めた」という感じに賑わいを見せた市場でした。本当に久しぶりに仲卸店頭は店の外までレジ待ちの列ができ、通路は対混雑していました。10月はこの勢いのまま行ってほしいです！！

今週のホットニュースは、

○大田店 韓国のお盆に食べる「ナムル」

○世田谷店 「ごんぎつね」を思い出しました。「曼殊沙華祭り」

○葛西店 知っていますか？ 日本のオオミズゴケは『絶滅危惧植物』

○会長小池のコラム(過去記事) 昨日は満月見ましたか？

以上の3レポートです。それでは、どうぞご覧ください

OFLOの部屋

秋分の日が過ぎましたがまだまだ暑い夏のようなようです。

9月29日は韓国のお盆です。

韓国のお盆に食べるナムルをご紹介します。



キキョウの根

韓国、日本、中国に分包しています。

漢方薬で使われている場合もあり、肺や気管支にも良いです。



チナムル

効果：カルシウム鉄分インが豊富で骨の骨密度を高めて骨の健康に助けられます。
ビタミンA成分が豊富で疲労回復と視力を保護するのに助けられます。



ゼンマイ

5-6 cmの小さい生のゼンマイを茹でて食べます。血圧を下げるのに効果的です。血糖調節にもよいです。カルシウムが100gに592mgはっています。



ゴンドレ ナムル

植物性のタンパク質が豊富です。
カルシウム、イン、鉄分があって骨を丈夫にして貧血の予防になります。
血液循環によく血管疾患を予防できます。

寒い冬に備えて秋に栄養補給をしましょう。
(栄養剤より食べ物でしっかり栄養をとりましょう。)

大田店のチャンロッキ

世田谷店おすすめ

こんにちは。世田谷・加工部の小池です。

長く続いた異常な暑さもようやく終わってくれましたね！

いつもは少し寂しくなる夏の終わりも、今年は全く感じませんでした。

秋最高です！！

加えてお彼岸も過ぎて一段落ついたなあなんて思っていたのですが、今年ももう終盤なんですよ。遅めの夏休みを取って少しだけゆっくりして年末に備えたいと思います。

というわけで、今回は、秋晴れの絶好のお出かけ日和に「府中市郷土の森博物館」で行われている「曼殊沙華祭り」に行ってきました。

こちらは色々な建築物を含む森全体が一体となった野外博物館で、梅園、小川、浅間山、はげなどの地形を再現し、それを生かした建物や田畑など歴史と自然を楽しめる施設です。



↑ 明治～昭和の建物が移築復元されています。

「曼殊沙華祭り」は、今回が初開催とのことですが、平日にも関わらず多くの人で賑わっていました。数年前までは8千株だったものが、今では35万株にまで増えたそうです。

猛暑と残暑の影響で開花が遅れているとの情報がありましたが、ちょうど見頃でラッキーでした。

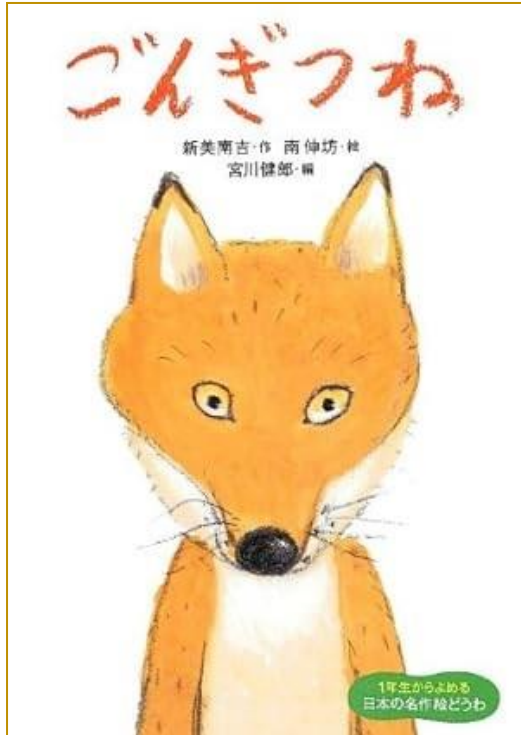


↑梅園一体に広がった彼岸花。見ごたえありました。

ところで、彼岸花というと個人的には小学校の教科書に載っていた「ごんぎつね」を思い出しますね。

ぎつねの「ごん」が自分のいたずらを悔いることになる場面で、葬列が通る道端に赤

い布のように咲き続けている彼岸花の様子が描写されていたと思います。
彼岸花と話のもの悲しさが相まって印象的でした。

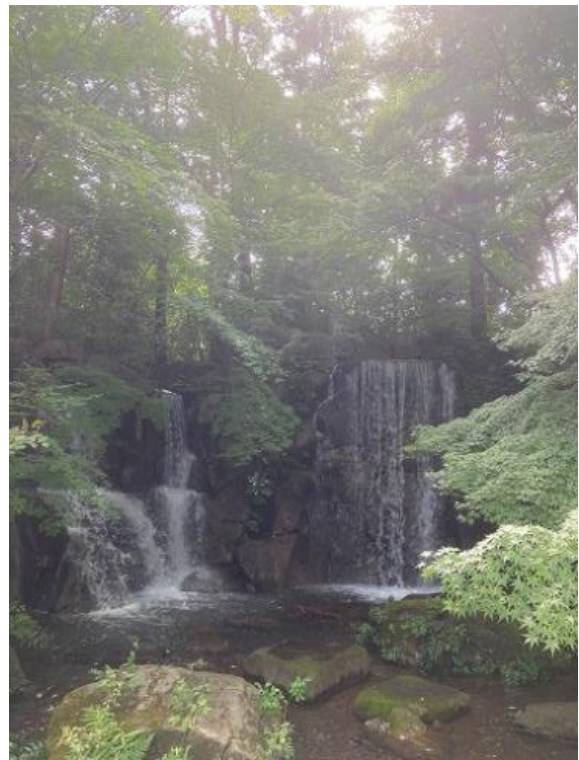


【ごんぎつね】は 1980 年に全ての教科書に採用されて以来、現在に至るまでずっと掲載されている唯一の教科書小説らしいですよ。

←いいイラストと思ったら、南伸坊

残念ながら博物館本館は改修工事のため来年まで見学できませんが、時期によって様々な花が見られますし、府中の自然や歴史に触れられるような風景や、謎の恐竜など展示も盛り沢山です。

秋のお手軽な行楽として訪れてみてはいかがでしょうか？



←散策していると急に現れます

加工部 小池

仕入れの素☆ 葛西店

お久しぶりです、葛西店の村上夏輝です。

今回紹介するのは、私が大学の卒業論文で取り扱った植物、「オオミズゴケ」について、少しお話ししたいと思います。

ミズゴケ類は世界各地で 150-200 種ほどいるとされています！



そんなミズゴケですが、葉の構造的に吸水性、保水性にとっても優れていて、果物、野菜、ラン科の植物、食虫植物、鉢物でよく見る胡蝶蘭の鉢の中に絶対と言ってもいいほど入っていたり、ミズゴケの上でしか生育しない植物もいるくらいとても重要な植物です。



↑ サギソウ



↑ モウセンゴケ（食虫植物）

他にも土に代わって屋上緑化、壁面緑化の基盤に用いられるとてもとても価値ある植物なのです！大活躍です！

しかし、近年、乱獲や埋め立てなどで数が激減、日本のオオミズゴケは絶滅危

惧植物になってしまい、100%輸入です。

これから、産業的にミズゴケが増やせるシステムだったり代替品になる土壌ができたりするとみんなが嬉しいですね。



写真は、自分が培養したオオミズゴケです！



培養したてだとこんなに小さいのです！



←キノコの生えてる写真くらいもりもりにするのに3~4年かかります。

とてもかわいいです！

今まで、ミズゴケの研究していたのにコケテラリウムをしたことがなかったので今度挑戦してみようと思います！

新しい発見があるかもですね。

季節の変わり目、寒暖差で体調を崩さないように気をつけて市場へきてください！

会長 小池潔のあれこれコラム (過去記事)

「月とガスタンク」(2012年10月05日号より)

7月のホットニュースで紹介した、「寄り添い支える」の著者で医師の菅野武先生。この本でいくつもの感銘する話が出てくる。その一つに「月とガスタンク」の話があった。

夜空の向こうに満月が見えて、手前に大きなガスタンクがある光景。形は同じ球体ですが、手前のガスタンクは巨大で、月はすごく小さく見えます。でも、実際は月のほうがはるかに大きい。「目前に大きく見える事象があっても、本当に大切なものはもっともっと向こうにある。自分の生きる目的を見失ってはいけない」という話です。

本を読んで、いつかホットニュースに書いてみたいと思っていた。それは自分が一番輝いている、一番丸い、一番大きい、一番綺麗なお月様を見てから書くこと、そのことが大切なような気がした。

それは十五夜の月以外にない。まして今年の十五夜(9月30日)は満月だと聞いていた。

29日はきれいな夜空に大きい月がぽっかり浮かんでいた。さて次の日はご承知のように巨大台風が日本列島を縦断、全国的に大きい被害が出て、浸水や家屋の倒壊もあり、被災された方々にはお見舞い申し上げ、一日も早い復旧を願っています。

お月様どころではない。夜空は星も月も見えない真っ暗闇で「月とガスタンク」の話は来年までお預けだと思って、床についた。

翌朝4時少し前に起床、暗い夜空にお月様を探した。「ない」北の空、東の空、南の空、「あった」西の空にひときわ光り輝いているまん丸のお月様を見つけた。昨夜の台風が大空の掃除をしてくれたように、くっきりと美しい姿を映し出していた。

目の前には無数の難問、課題が次から次と現れる。その処理に明け暮れ自分自身の目標や夢を見失っている。そのことを「月とガスタンク」の話にたとえた。人は物心が付いたころから夢を持ち始める。

私はプロ野球の選手だったり、やがて新幹線が開通して「こだま」が走ると、「こだま」の運転手だったり。子供のたわいのない夢だが、どの夢も実現できなくて忘れ去っていった。

